

SNSと政治的熱狂

皆さんはお気付きになったでしょうか。今年の桜並木の紅葉は、かつてないほど鮮やかでした。堤防の上には、まるで燃え立つ炎が連なっているような、美しい光景が出現しました。

その桜紅葉もいつの間にか木枯らしに舞い、気が付けば師走です。振り返ると、今年

は選挙の年でもありました。東京都知事選に始まり、自民、立憲両党の党首選と衆議院選挙、さらにアメリカ大統領選そして兵庫県知事選など、耳目を集めた選挙が続き、騒々しく落ち着かない一年だったように感じます。

中でも東京、兵庫の知事選では、マスコミなどの事前の予想を覆す結果となり、SNSの存在がクローズアップされました。両知事選の最終盤、SNSを駆使した候補の街頭演説に集まった群衆の熱狂は、まるでアイドルのコンサートのようにでした。

スポーツや芸能界の熱狂は、

他愛もないものですが、大衆の政治的熱狂は現状を打破する力を持つ一方、暴走して新たな混乱を産む危うさも内包しています。4年前のトランプ支持者の議会突入などは別格としても、日本でも熱狂的な支持者たちが、対立候補の支援者にSNSを使い生命の危険を感じさせるような攻撃を加えたりしています。

マスメディアへの不信から、ネット情報に頼る人はこれからも増えていくと思われます。ただネット上には真偽不明の膨大な情報が浮遊しており、これを選別するのはとても難しいことです。しかし、SNSに限らずマスコミや週刊誌の情報に鵜呑みにせず、立ち止まり自分の頭で考えることが必要です。政治的熱狂の暴走を食い止め、その渦に巻き込まれないためにも・・・